

夏号

第100号

元気です。



東京聖労院
イメージキャラクター
「元気くん」

発行者：社会福祉法人東京聖労院

〒204-0003 東京都清瀬市中里5-91-2 事務局TEL：042-493-0180



2023年(令和5年)7月25日発行 [年3回発行]

「聖人君子 平山 平 元専務理事 旅立つ」

昨年の秋、今年夏に発行予定の東京聖労院広報誌「元気です。」第100号記念号について協議がスタートしました。話題の中心は巻頭言の執筆者。協議メンバーの誰とはなしに「平山先生をおいて他には考えられない」と発言が続き満場一致、果たして記念号の巻頭言は平山平先生にお願いすることが決定しました。

早速、関係職員の総意を先生にお伝えしたところ、その場でご快諾のお言葉をいただき、早々に電話で構想をお聞かせ下さったのでした。特別区人事厚生事務組合への事業移管を終了した後、ゼロスタートから新たな峰に挑んだ

東京聖労院。高齢福祉への業種転換を見事に成功に導き、その後の繁栄に繋げてくださった当時の役員の方のご縁と感謝。これを何としても伝えたい、と当時を回想しながら熱い想いを語って下さいました。

しかし、残念ながら巻頭言の完成を見ぬまま平山先生は令和5年4月20日にご逝去されました。先生が何としてもお伝えされたかった感謝の気持ちの一部を、「東京聖労院80年のあゆみ」(80周年記念誌・平成21年2月11日発行)にご自身がお寄せになったお言葉に代えてご紹介させていただきます。

「業種転換前後 — 新理事会誕生の経緯 —」

社会福祉法人東京聖労院 元専務理事 平山 平

(執筆当時は、専務理事)



平成4年1月5日2代理事長逝去。この年3月末迄に業務移管をすることになっていました。葬儀、リストラ、職員の再雇用の斡旋、法人事務終結関係の文書や決算作成に忙殺される中で今後法人活動をどうするかは大問題でした。

先人が苦難辛苦したことを思えば、今こそ発奮興起の時と、内心燃える決意も新たに演園子理事長が就任。この頃の新理事長の心中を察するに正に零発信、理事長を引受けてくれる人も考えられず、初代理事長の後裔として法人伝統の自覚と責務を感じての苦悩は他の想像を絶しますが、その胸中には次なる活動の映像は幾重にも巡り出ていると思われました。

法人継続の第一要諦は、まずは理事会に人を得ることが基本でした。その次第を記します。葬儀委員長鶴巻克雄氏は、なき理事長同窓の盟友。理事就任の依頼にも即了承。頼母しい方との印象を強くされていました。時流を鋭く見極めて至言は常に正義を指摘され棋界一番の論客とも伺っています。

役人嫌いの初代理事長が一人だけ信じていた山下静平氏(当時は山谷対策担当職員)は、師友といわれた谷田實理

理事長を昔から熟知され、法人将来のことも我がことのように気配りを持たれ、都は老人ホーム開設が急務であるとの要請を教示、支援協力を親身の配慮をされました。今に至る理事。特に地域に在る日本社会事業大学三浦文夫学長を紹介。学長室で学識研究者の推薦を願うや「私でよろしければ」と零スタートの法人に加勢なさるとのお言葉。日本福祉の基本を進める第一人者の方々を理事に迎えることができ他法人からも羨ましがられています。

法人は特に清瀬にご縁を得ましたが、当時星野企画部長(現清瀬市長)に地元代表の理事に円福寺住職の森原弘成清瀬市社会福祉協議会会長を説得いただきました。清雅苑の法事、行事には必ず来苑され読経は勿論ご利用者の喜ぶ説法をいただき説法坊主といわれた金田院主と重なる方と合掌。

永年勤続木川監事は2代理事長に請われて就任した中学の学友。その人脈から当時、数少ない岡山賢治公認会計士を推挙され、福祉業界での先駆的改革を遂げられています。盤石の理事会の下、聖労院は展開を続けます。平成11年以降評議員会と両輪になっての法人展開は注目を浴びているのです。

平山先生の訃報に接して

東京聖労院 常務理事 岡山 賢治

平山先生は、その性格はまさに実直という表現がぴったりで、しかもとても気さくで優しい性格の方でした。東京聖労院の理事退任後も顧問として法人の会議等に参加されていましたが、その存在感は別格で、先生がいらっしゃるだけで職員は安心し、まさに、東京聖労院の精神的支柱と呼べる存在でした。

私が最初に先生にお目にかかったのは、平成6年に東京聖労院の監事に就任する際に、濱前理事長とともに当時の私の勤務先の事務所にお越しいただいた時でした。当時は、それまでの生活保護法に基づく保護施設、児童福祉法に基づく母子寮の事業が終了し、新たに高齢福祉事業を開始するために、先生は、濱前理事長とともに清雅苑の開設に奮闘されていた時期であり、清雅苑の開設が、その後の高齢福祉事業、児童福祉事業における大きな拡大に繋がり、濱前理事長とともに現在の東京聖労院の礎を築いてこられました。

私が監事に就任することになったのは、木川先生(当時、東京聖労院の監事)との関係によるものでしたが、監事就任後、先生から、小学校の校長を退職後、木川先生に半ば強制的に東京聖労院に就職させられたという話を伺い、木川先生を介して東京聖労院で先生と出会う

ことができたことに不思議な縁を感じたものでした。

先生は、食欲も旺盛で、声も大きく張りがあり、とにかくお元気で、奥様とスキーや旅行を楽しんでおられたと聞いております。百歳以上生きられて、東京聖労院の100周年も見届けていただけるとも思っていましたので、突然の訃報に驚いております。コロナ禍の中で、3年以上お目にかかる機会がなかったのが、返す返すも残念です。

今年いただいた年賀状には、ハッ場ダムでヘルメットをかぶり奥様と仲良く楽しそうに撮られた写真がありました。まさに、奥様との長い幸せな人生を象徴する一枚だと思います。

ご冥福をお祈りいたします。



法人創立80周年記念式典 挨拶(平成21年2月11日)

月光仮面は誰でしょう? それは…

東京聖労院 常務理事 小滝 一幸

「…疾風の様にあらわれて、疾風の様に去っていく…」、1950年代後半に大ヒットした正義のヒーロー、月光仮面。テレビで見たことがない私でも、その主題歌はよく知っています。私が平山先生とお会いしたのは平成7年の春でした。初めてお会いした時の清廉潔白、誠実そのもののお人柄は今でも鮮明に記憶しています。それから28年が過ぎ自分自身還暦を迎えましたが、初対面の印象以上の先生のお人柄に触れながら東京聖労院で時を刻めたことは、私にとって大きな財産と言えます。年齢を重ねる中で、私も人並みには多くの方々とお会いする機会を得てきたと感じます。困りごとが起こると、いつの間にかいなくなる人も多いと感じる中、先生は正反対の方でした。平成初期、

法人の事業の多くが特別区人事厚生事務組合に移管され終了した後、高齢福祉事業への業種転換に至る壮絶な苦労は濱前理事長、先生から度々お聞きしていました。また業種転換後の急速な事業拡大期に生じた混乱、次の世代の法人体制整備に混沌とした時期の先生の躍動は目の前で拝見してまいりました。法人が危機に陥った時には、いつも先生がいらっしゃったように思えます。誰もが逃げ出したくなるような困難な出来事が起こると、普段は控えめな先生がいつも、いつの間にか目の前に現れ問題解決に全力を注ぎ、解決後には何もなかったかのようになり、いつの間にか裏方に戻られるのでした。私自身が解決困難な出来事に遭遇した時でさえ、必ず先生は何処

平山先生へ — 感謝の言葉 —

東京聖労院 理事長 和田 敏明

東京聖労院顧問である平山 平 先生が98歳で逝去されました。4月24日に告別式が行なわれました。先生は小学校の校長を務められた教育者でしたが、縁あって東京聖労院にこられ、東京の特別区厚生事務組合より受託を受けていた宿所提供施設、葛飾荘、千歳荘の施設長を勤められました。その事業が特別区厚生事務組合から引き上げられ、法人は事業を失い存亡の危機に陥りましたが、平山先生は濱前理事長とともに、少子高齢化という日本社会の変化に対応するために高齢者福祉と児童福祉へと事業転換を図り、今日の東京聖労院発展の道を拓いてくださいました。法人の理事、専務理事、顧問を務めていただき、事業の進展に力を尽くしてくださいました。東京聖労院の存在意義、基本理念を職員に、様々な機会を捉え、深く、分かり易く伝えていただき、東京聖労院にとって精神的支柱の役割を果たしてくださいました。私が理事長を引き受ける決心をしたのも、大学に役員の方々とお見えになり、先生が中心にまとめられた法人の80年の歩みの冊子をいただき、それを読み、法人の歩みに感激したことが決め手になりました。職員へのお話の機会があると、笑顔を忘れないでと常に言われて

いましたが、お会いするといつも優しい笑顔で話しかけていただき、自ら実践されていました。

告別式の奥様のご挨拶で、2人で電車のシルバーシートに座っていると、前に子供を抱いた若い女性が来られたら、先生がすぐに立って、どうぞと言われた。相手の女性は100才近い高齢者から席を譲られたことに驚いていたというエピソードを紹介され、善意の塊のような人でしたとお話しされました。その通りだなと伺っていました。先生のこれまでのお働きに、心からの感謝を申し上げるとともにご冥福をお祈りいたします。



永年勤続表彰式 食事会にて 右隣りは和田理事長(平成30年2月12日)

故 平山 平 元専務理事 東京聖労院における略歴

- 昭和60年4月～昭和62年3月 …………… 葛飾荘 施設長
- 昭和62年4月～平成4年3月 …………… 千歳荘 施設長
- 平成3年9月～平成11年11月 …………… 社会福祉法人東京聖労院 理事
(内、平成8年4月～平成9年3月は、特別養護老人ホーム清雅苑 施設長 兼務)
- 平成11年12月～平成19年5月 …………… 社会福祉法人東京聖労院 評議員
(内、平成15年6月～平成15年9月は、特別養護老人ホーム清雅苑 施設長 兼務)
- 平成15年10月～平成25年11月 …………… 社会福祉法人東京聖労院 理事
- 平成25年12月～ …………… 社会福祉法人東京聖労院 顧問

令和4年度決算報告について

社会福祉法人 東京聖労院 常務理事 岡山 賢治

当法人は、社会福祉法上の「特定社会福祉法人」に該当し、平成29年度から計算関係書類及び財産目録について、会計監査人による監査を受けています。令和4年度の計算関係書類及び財産目録について、会計監査人から令和5年6月5日付で無限定適正意見の監査報告書を受領し、監事から令和5年6月6日付で会計監査人の監査の方法及び結果は相当である旨の監査報告書を受領し、令和5年6月9日の令和5年度第1回の理事会において承認されました。

令和4年度は、全国的にも新型コロナウイルス感染症の拡大が継続しましたが、当法人においても、特別養護老人ホームにおいて令和4年4月以降断続的にコロナ感染症のクラスターが発生し、ショートステイの受入ストップ等により、利用率が大幅に低下しました。

令和4年度は、北青山在宅サービスセンターが指定管理を受け、新規に事業を開始しています。一方、児童施設では、荒川小放課後子ども総合プラン桐ヶ丘郷小放課後子ども総合プランが令和4年3月末をもって業務受託を終了しています。

こうした状況の下で、令和4年度のサービス活動収益は3,709,071千円（前年度比202,444千円の増加）、人件費は2,694,209千円（前年度比121,581千円の増加）、事業費・事務費は水道光熱費、採用費の大幅な増加もあり1,021,042千円（前年度比107,663千円の増加）となりました。

以上の結果、令和4年度のサービス活動増減差額は△54,450千円（前年度は△22,368千円）、サービス活動外増減差額、特別増減差額を加えた当期活動増減差額は△49,463千円（前年度は△14,445千円）と2年連続赤字決算となりました。

資金収支計算書については、当期資金収支差額合計は△33,174千円、当期末支払資金残高は863,187千円となりました。

コロナ感染症の影響、職員採用の困難さ等、当法人を取り巻く厳しい環境は続くことが予想されますが、事業を継続していくうえで、令和5年度の黒字化は最低限の目標と考えております。

また、社会福祉法人に対する社会の要請は大きく変わってきており、これまで以上に社会、地域との関わり、貢献が求められることとなります。

社会福祉法人に対する社会の要請に添えていくためには、令和5年度に黒字化を達成し、継続的に適切な活動増減差額を計上し、安定的な経営基盤を構築していくことが必要であると考えております。

令和4年度決算報告			
貸借対照表（令和5年3月31日）			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,166,270	流動負債	399,539
固定資産	3,312,832	固定負債	100,586
内、固定資産（基本財産）	2,742,240	負債の部合計	500,125
内、固定資産（その他の固定資産）	570,592	純資産の部	
		基本金	275,525
		国庫補助金等特別積立金	2,194,120
		その他の積立金	389,350
		次期繰越活動増減差額	1,119,982
		純資産の部合計	3,978,977
資産の部合計	4,479,102	負債及び純資産の部合計	4,479,102

事業活動計算書（自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日）	
勘定科目	本年度決算
介護保険事業収益	3,085,279
高齢者集合住宅生活援助員派遣事業収益	39,591
児童福祉事業収益	580,011
武道場管理収益	1,399
経常経費寄附金収益	910
その他の収益	1,881
サービス活動収益計①	3,709,071
人件費	2,694,209
事業費	490,897
事務費	530,145
利用者負担軽減額	1,789
減価償却費	100,540
国庫補助金等特別積立金取崩額	-56,578
徴収不能額	24
徴収不能引当金繰入	2,494
サービス活動費用計②	3,763,521
サービス活動増減差額③=①-②	-54,450
サービス活動外収益計④	4,999
サービス活動外費用計⑤	90
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	4,909
経常増減差額⑦=③+⑥	-49,541
特別収益計⑧	140,649
特別費用計⑨	140,571
特別増減差額⑩=⑧-⑨	78
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	-49,463
前期繰越活動増減差額⑫	1,023,931
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	974,469
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	145,514
その他の積立金積立額⑯	0
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	1,119,983

資金収支計算書（自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日）	
事業活動	単位：千円
事業活動収入計①	3,714,070
事業活動支出計②	3,717,255
事業活動資金収支差額③=①-②	-3,185
施設整備等収入計④	140,571
施設整備等支出計⑤	318,942
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-178,371
その他の活動収入計⑦	152,907
その他の活動支出計⑧	4,525
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	148,382
予備費支出⑩	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	-33,174
前期末支払資金残高⑫	896,361
当期末支払資金残高⑬+⑫	863,187

からともなく現れ、救いの手を差し伸べて下さいました。その様な光景を目の当たりにする度に頭に浮かぶものが冒頭の歌詞でした。困って途方に暮れている時にこそ現れ、輝きを放ち周囲を照らす先生は、私にとって正義のヒーロー、あこがれのヒーロー、月光仮面なのです。先生には遠く及びませんが、私ももう少しだけ頑張ってみようと思います。平山先生、いつまでも東京聖労院と私達を広い空の上から見守っていて下さい。



理事長退任・就任式 挨拶（平成27年8月8日）

藍より青く、天高く翔ける平山先生へ

東京聖労院 前理事 武藤 治彦

初めてお会いしたのは清雅苑の初代施設長の時でした。先生は71歳、私は37歳。他の職員はもっと若く、多士済々の面々でした。開設した頃は苦勞と模索の毎日でしたが、職員は只々元気で、先頭が古希越えの先生でした。広報誌「元気です。」の命名は公募でしたが、名は体を表す、当時の雰囲気をよく表していたと思います。澁淵とした先生の姿は新芽を育てる春の風のように暖かく穏やかでした。

故浜前理事長とは既に俱会一処され、四方山話の花が満開なのでしょう。救貧に取り組む「聖勞」と公言し、万人を生かすことを実践した先人の灯。消すまいと奮闘されたお二人の努力は、平成に東京聖労院を大化けさせました。理想を放棄すれば人は老いる、人生の黄昏時でも信念と希望を持ち新しい活動が続ければ、青春は永遠であることを身を以て示す活躍ぶりでした。

前理事長から「正直に話すので、よく足でつついた」と交渉中ののはらはらした思い出を聞かされました。聖職の教員を定年する時、恩人との約束を思い出し悠々自適の再就職先を断り、聖勞の更生事業に身を投じたとも聞きました。嘘をつけない、律儀さは不器用さと裏腹ですが、だから大丈夫と信頼を集め、人を動かすのだと思います。信用は事業機会を紡ぐことにも影響を与えます。篤実な人柄は無形の価値、先生のブランドでした。

先生は何故、理念を伝承しようとされたのでしょうか。理念を語る先生は熱く、真剣で、正に歩く理念でした。最低限を欠く貧困の過去、格差が普通を阻む困窮の現在。両方を知る先生は、生きづらさのない社会を訴えた理念に時空を超えた人としての羅針盤を見たのかもしれませんが。しかし、理念は先祖返りではありません。先代に

とらわれて挑戦を忘れれば後退が始まります。時代が少子高齢化に進む中で、理念の何を継ぎ、何を捨てるかを問い直したことには大きな意義がありました。理念の成長と浸透は事業の前進と歩みをひとつにするものだからです。青は藍より出でて藍より青し。弟子は師を超えたのかもしれない。そして、青より青く、新しい師を超える弟子も生まれるはず。先生、東京聖労院の物語はまだまだ続いていきます。

結婚式の時、先生に乾杯の発声をお願いし「お二人は東京聖労院の希望の星」と激励されました。しかし、どん底の時期に飛び込んだ先生こそが希望の星であり、義を見てせざるは勇なきなり、勇者であったと思います。平山先生、もうお顔を拝見することも、お話を聴くこともできなくなりました。淋しいです。心に翼をつけられたなら、天高く翔ける先生を追いかけられるでしょう。永い間、本当にお世話になりました。お別れにあたって、小学生の時に習った石川啄木の詩を奏します。

ふるさとの山に向ひて言ふことなし。
ふるさとの山はありがたきかな。



法人全体会 挨拶（平成27年11月20日）

つきみの園ワークショップ「コキアでほうき作り」

つきみの園 ボランティアコーディネーター 對馬 博子

令和5年2月13日(月)13時～15時つきみの園内「なごみ」にて、地域の人を対象に、園庭で育てたコキアの枝を使って、箒を作るワークショップを開催しました。参加者4名、お手伝い2名の合わせて6名で行いました。参加者全員箒作りは初体験で、ある参加者は「箒を作ってみたくて思っていた時に、偶然掲示板でワークショップを知り、とても嬉しかった」とのこと。また、別の参加者は「娘が掲示板を見て、面白そうだから参加してみたら」と勧めてくれたとのことでした。皆さんは、初対面にもかかわらず、作業をしながら会話も大いに弾み、身の上話やかつて義父がショートステイで当園をご利用されたことなどを思い出されていました。

箒作りを目的として開催したワークショップでしたが、終わってみれば箒作りは手段であって、みんなで同じ時間を過ごして会話を楽しむことが、実はもっと意味のある目的だったように実感しました。



ご寄付をありがとうございました

令和5年2月～令和5年5月 ※敬称は略させていただきます。

清雅苑	匿名3名
つきみの園	新木町会 鈴木竹男、匿名3名
やまぶき荘	匿名1名

ボランティアのご協力(活動人数) 令和5年2月～令和5年5月

施設	月	2月	3月	4月	5月	計
清雅苑		7	6	21	31	65
つきみの園		30	77	70	80	257
やまぶき荘		3	3	7	44	57
サン・サン赤坂		44	66	53	39	202
中高生プラザ		2	7	0	4	13
中高生プラザ青山館		0	0	0	0	0
八幡山子どもセンター		2	4	0	2	8
わくわく滝四ひろば		0	0	0	0	0
わくわく王三ひろば		0	0	0	0	0
わくわく豊川ひろば		1	0	0	0	1
わくわく梅木ひろば		0	0	0	0	0
わくわく田端ひろば		0	0	0	0	0
合計		89	163	151	200	603

※ ボランティアの皆様には感染症対策にご協力いただき、活動をお願いしています。

実習受入 令和5年2月～令和5年5月

実習受入	学校名・団体名	資格名	実人員	延べ人数
清雅苑	日本社会事業大学(学部)	社会福祉士	1	1
	日本社会事業大学(学部)	社会福祉士	3	3
	小計		4	4
つきみの園	日本社会事業大学(通信)	社会福祉士	1	11
	日本社会事業大学(学部)	社会福祉士	2	16
	ルーテル学院大学	社会福祉士	1	10
小計		4	37	
やまぶき荘	赤羽北桜高等学校	介護福祉士	2	14
	十条富士見中学校	職場体験	4	8
	帝京高等看護学院	看護師	34	107
	帝京大学看護学科	看護師	10	50
	東京福祉保育専門学校	介護福祉士	2	15
	日本福祉教育専門学校	介護福祉士	2	27
小計		54	221	
サン・サン赤坂	高陵中学校	職場体験	2	4
	小計		2	4
八幡山子どもセンター	十条富士見中学校	職場体験	2	4
	小計		2	4
わくわく豊川ひろば	東京都立志村学園	職場体験	1	2
	小計		1	2
合計			67	271

伝言板

ボランティアさん募集

ボランティアの募集状況は、現在施設によって異なります。
最新状況につきましては各施設にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

清 雅 苑

《在宅》

- お話し相手、趣味活動(手芸・囲碁・麻雀・絵手紙・その他)のお手伝いをしていただける方
月曜～土曜日 午後1時15分～2時30分まで
※曜日・時間はご相談ください。一日でも可
- 朝のお茶出し(合間にお話し相手)をしていただける方
月曜～土曜日 午前9時30分～11時まで
連絡先 デイサービス ☎042(493)0122

つ き み の 園

《特養》

- シーツ交換をしていただける方
- 食事の配膳、下膳(朝、昼)のお手伝いしていただける方
- 車椅子の修理や清掃をしていただける方
- 趣味活動(書道・ちぎり絵・その他)の講師をしていただける方
- 園芸のお手伝いをしていただける方

《在宅》

- 活動のお手伝い(準備等)をしていただける方
- お話し相手、活動の補助をいただける方
連絡先 ボランティアコーディネーター 担当者: 対馬(つしま)
☎042(386)6511

桐ヶ丘やまぶき荘

《特養》

- シーツを交換していただける方
- 間接業務を手伝っていただける方(食器洗い・エプロン洗い・口腔用具の洗浄等)
- お話し相手をしていただける方
- 音楽療法をしていただける方

《在宅》

- 趣味活動のお手伝いをしていただける方
月～土曜日 午前9時30分～11時30分まで
連絡先 事務所 ☎03(5924)0150

サン・サン赤坂

《特養》

- 入浴日の整髪・ドライヤーをしていただける方
- ご利用者のお話し相手をしていただける方
午前10時～11時30分、午後1時30分～4時30分の間で可能な時間

《在宅》

- ご利用者のお話し相手をしていただける方
月～土曜日 午後3時30分～4時30分の間で可能な時間
※曜日・時間はご相談ください。
 - 趣味活動(ちぎり絵・その他)の講師をしていただける方
- 《坂の上のカフェリントラウ》
- スタッフ募集(水・金曜日のどちらかで午前11時半～午後2時の間可能な方)
※時間はご相談ください。
連絡先 総務課 ☎03(5561)7833

寄付をお待ちしています

清 雅 苑

《特養》

- 未開封のオムツ、模造紙
- 連絡先 総務課 ☎042(493)0120

《在宅》

- 未使用の折り紙・色画用紙・アクリル毛糸(並太・極太)、色えんぴつ・クーピーペンシル
- 車椅子・シルバーカー
- 連絡先 デイサービス ☎042(493)0122

つ き み の 園

《特養》

- 入浴剤(温泉成分の入っていないもの)
- 連絡先 生活課 担当者: 三浦 ☎042(386)6511

《在宅》

- 絵具、筆、色画用紙、タオル・バスタオル(未使用のもの)、DVD(落語、演歌等)、鉛筆(B以上)、麻雀マット、園芸用土
- 連絡先 デイサービス 担当者: 小原 ☎042(386)6513

桐ヶ丘やまぶき荘

- 未開封のオムツ、入浴剤、風船、千代紙(和紙)、折り紙、色画用紙、うす形座布団(43cm×43cm前後もの)、ファミリー自転車、液晶テレビ19～24インチ(地デジ対応)、ハンドクリーナー、その他趣味活動で使えそうな物

- 毛糸、未使用のフェイスタオル
- 連絡先 事務所 ☎03(5924)0150

サン・サン赤坂

- 紙オムツ、液晶テレビ(地デジ対応)・男性用パジャマ・くつ下・車イス(新品または新品同様)・タオル

- 連絡先 ☎03(5561)7833

プラザ赤坂なんでも

《児童館》

- ボール、バドミントンラケット、バドミントンのシャトル、なわとび、ナーフ(弾でも本体でも)、マグブロック、おりがみ、色画用紙、紙袋、未使用の割りばし、ミニエレキギター、ミニベース、エレキドラム(セット)、各種エフェクター

- 連絡先 ☎03(5561)7830

八幡山子どもセンター

- 乳幼児向けの玩具(プラレール・メルちゃんの小物&洋服・おままごとセット等)

- 連絡先 ☎03(3905)0713

編集後記

今号では長い間 当法人を支えて下さった平山顧問の追悼文集を掲載いたしました。在りし日のお姿を偲びつつ、心よりご冥福をお祈りするとともに、改めて平山顧問のあたたかい人柄や多大な貢献を知ることができたことに、編集に携わった職員に感謝いたします。

つきみの園 広報委員

ご意見・ご感想を募集

みなさまより「元氣です。」に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

honbu@seirouin.or.jp